

# 地域住民と同僚職員の協力でさらに進化！

## ～問寒別駐在所のパトカー雪像～

問寒別地区の冬の風物詩となりつつある天塩警察署問寒別駐在所・大西巡査部長が制作するパトカーの雪像が1月10日の110番の日に合わせてお披露目されました。

今年はなんと2台の実寸大パトカー雪像の登場です！

1台目は、ある程度の年齢層の方には懐かしく感じる車の形をしたスカイラインパトカー雪像で、昭和59年に問寒別派出所に初めて導入された車両を参考として制作されました。



【初代スカイラインパトカー雪像】



【後部座席に座れる進化型ミニパトカー雪像】

2台目は、現在駐在所で活躍しているミニパトカー雪像で、一見すると昨年と同様のデザインに思えますが、今年は後部座席が座れるようになっており、さらに進化を遂げております。

12月初旬は例年のない雪不足でしたが、昨年のミニパトカー雪像をたいへんなご苦労のうちに制作したご夫婦の姿を見ていた地域住民有志が、型枠を設置し、ショベルカーで町内から雪をかき集め、小型除雪機で雪を吹き込み、雪像の原型を整える作業を自発的に手伝い。

ところが、5割程度できあがった1月5日に大西さんが足首を骨折し入院するという緊急事態が発生。今年はまだ無理かと諦めかけた矢先、天塩署員有志延べ5名程度が同僚の危機に立ち上がり、地域住民からも支援の声が上がり地域が協働して残りの作業を継続しました。

お披露目前日の9日朝の時点では8割程度の出来栄でしたが、何とか完成させたい大西さんが一時退院して指揮を執り、スプレーで色塗りするなどの仕上げ作業を急ピッチで進めました。

問寒別地区では元旦から雪が降り続いており、スプレーでの色塗り作業は、塗ると雪が積もるを繰り返して困難を極めました。午後10時頃に遂にパトカー雪像2台が完成し、無事、110番の日の午前10時にお披露目することができました。

お披露目当日は、たくさんの地域住民や報道関係者で賑わいました。

大西さんはしばらく入院しているため、雪像パトカーの維持は難しく、大西さんや地域の皆さま、同僚職員の力作をご覧になりたい方は、お早目に問寒別駐在所へ出向いてみてはいかがでしょうか？